

講義名	対1)流通史			授業形態	
担当教員	都築 晶	開講期・曜日・時限	前期 水曜日 1 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

この授業では、江戸時代から現代までの流通およびその周辺の産業について学習する。その際、神戸の事例多く紹介しながら授業を進める予定である。

到達目標

この授業では、履修した学生が、「知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」となってもらえるよう授業を構成していきたい。
特に
・収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握することができる情報分析力
・さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、課題の解決に向けた進路や段取りを明らかにした上で、具体化することができる構想力を身につけてもらいたい。
歴史的な事実を多数紹介するので、「知識」は十分に得られると考えられる。しかし、身の回りに興味を持ち、学んだことがいけるのであれば、社会に出た後も必ず役に立ち学生皆さんの助けになると考えられる。

提出課題

基本的に試験もしくは期末レポートでの評価を考えているが、中間レポートを場合がある。中間レポート提出を課す場合は授業内もしくは配布の資料で内容を指定する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題を課した場合、課題締め切り後に全体的な出来について講評を行う予定である。

評価の基準

試験もしくは期末レポートと、途中提出されたレポートにより評価をする。期末試験を予定しているが、状況次第では期末レポートとなる可能性がある。
評価は、試験もしくは期末レポートが100%、もし中間レポートが課された場合試験・期末レポート80%中間レポート20%で評価する予定である。
途中でオンラインに変更する可能性もある。その際は、別途案内をだす。

履修にあたっての注意・助言他

授業中の私語、飲食厳禁。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

授業ごとに資料をネットにアップロードする予定。
(月曜のお昼頃にはアップする予定)
受講に際して、各自ダウンロード、印刷するように。
教科書は指定しないが、参考文献は適宜授業内で紹介する。

授業計画

第1回：はじめに
第2回：江戸時代の遺産
第3回：グローバル化
第4回：ものづくり
第5回：ものづくり
第6回：ものづくり
第7回：都市化
第8回：都市化
第9回：都市化
第10回：都市化
第11回：消費
第12回：観光
第13回：観光
第14回：観光
第15回：まとめ

一時的に通学困難になった場合は対面 授業 中での対応する。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業のあった日は1時間、それ以外の日は日々30分程度新聞・ニュースなどを見て、今起こっている問題に興味を持つこと。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

・知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材
歴史として知っているというだけでなく、それが現在や今後にとつながら考えながら受講してほしい。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

一時的に通学困難になった場合は対面 授業 中での対応する。